

世界的建築家

隈研吾 氏の設計による校舎群

平成12年(2000年)、学部新設と、短大の清原キャンパスの移転にともない増設された校舎群は、世界的な建築家・隈研吾氏と、宇都宮市内の設計事務所(安藤設計)による共同設計。キャンパスの計画は、中央にゆったりした庭園を配し、それを中心とした「アカデミカル・ヴィレッジ」が出現することを夢見ました。

庭園は、南から北へ傾斜する空中庭園(作新清原ホール上)からスタートし、大階段を経て一挙に下降し、二つの芝張りの局面(通称・築山)を横に見て、最終的には学生会館の前の方の池を通過して周辺の町並みへ連続することにより、周辺地域の環境に開かれた計画としました。

構内にある樹木の姿をコンピューター処理したパターンが貼られたガラスや、CO₂濃度センサーと連動した霧噴射装置(空中庭園内)など、建築の各所にユニークな造形が見られます。また、栃木県北で採れる芦野石の大階段や、築山にある大谷石の照明装置など、栃木県産の材料も使用されています。

※2000年完成の建物は中面のMAP **4 5 6 7 8 9 13**



樹木の姿をコンピューター処理したパターンが貼られたガラス



芦野石の大階段



大谷石の照明装置



第12回
栃木県マロニエ建築賞
(街並み景観部門)受賞

資料提供：安藤設計



緑が広がるキャンパスとマロニエの木のプレート

正門傍に立つサクラの木

■マロニエとサクラの木に込められた思い

マロニエの木は、平成元年(1989年)に開学した作新学院大学の開学記念樹。マロニエは故・船田譲先生の思い出の樹でもあります。日本にマロニエを普及させる会(マロニエ会)の理事である相場啓介氏が名誉会長 秩父宮妃殿下にお願い、青山御所で自ら育てられたマロニエ(赤)をいただき、移植した木もあります。キャンパスには、パリ、ボストン、ワシントン、ウィーン、ローマ、ブダペスト、ベルリン、ロンドンなど、各国由来のマロニエの実から育てられた木が茂ります。日本国内で世界のマロニエを一ヶ所で鑑賞できる場所は非常に珍しいそうです。

清原キャンパス正門傍にある2本のサクラの木は、本学の初代学長である故・船田周先生の奥様である故・船田清子先生が、本学で学ぶ学生たちの憩いの場になってほしいと、平成5年(1993年)に正門とグラウンド沿いに15本を寄贈したサクラです。今や大木となったサクラの木は毎年見事な花を咲かせ、私たちの目を楽しませてくれます。

■キャンパスで出会う生き物たち



カルガモ

オナガ

ミズカマキリ

緑あふれる清原キャンパスではさまざまな生き物が見られます。

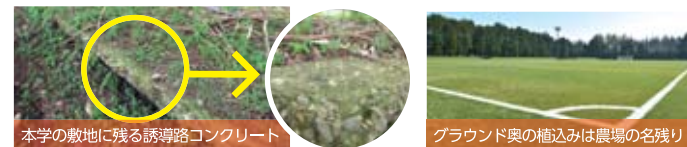
野鳥

春夏はカルガモの親子が学生会館前の池に遊びに来ることも。その他、セグロセキレイ、オナガ、シジュウカラ、キジバト、コゲラ、オオタカ、ツミなど。

昆虫

アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ミズカマキリ、ケヤキフシアブラムシ(11~12月)など。

■旧飛行場跡と農場の名残り



本学の敷地に残る誘導路コンクリート

グラウンド奥の植込みは農場の名残り

作新学院大学がある宇都宮清原地区周辺には、古代の遺跡・遺物や飛山城など多くの史跡があります。特に作新学院大学清原キャンパスが位置する場所は、旧陸軍宇都宮飛行場の一部でした。本学の野球グラウンド東側のフェンス下には誘導路コンクリートが残っています。

戦後、このあたりには宇都宮大学の農場が設置され、本学のキャンパスを囲む植込みには、その名残りが見られます。



SAKUSHIN GAKUIN
UNIVERSITY

ようこそ
清原キャンパスへ

作新学院大学は、宇都宮市東部、緑豊かな清原の地にあります。敷地面積は10万m²で、桜、新緑、紅葉…と、四季折々の花や樹木がキャンパスを彩ります。世界的な建築家・隈研吾氏が手掛けた校舎もあり、明るく開放的なキャンパスは私達の誇りです。



ひと目で分かる！

CAMPUS MAP



SAKUSHIN GAKUIN
UNIVERSITY

作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部



作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部

地域協働広報センター

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908番地
Tel: 028-670-3614 E-mail: renkei@sakushin-u.ac.jp
http://www.sakushin-u.ac.jp/





作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 キャンパスマップ

CAMPUS MAP



作大・作短のマスコット
「テクミン」

- | | | |
|------------|------------------|----------------|
| ① 正門 | ⑨ 学生会館 | ⑪ 情報センター |
| ② 管理棟 | ⑩ 学生駐車場 | ⑫ 第2教育棟 |
| ③ 教職実践センター | ⑪ 北門 | ⑬ 第1体育館 |
| ④ 中央研究棟 | ⑫ 野球グラウンド | ⑭ 第1教育棟 |
| ⑤ 作新清原ホール | ⑬ サークル棟 | ⑮ 地域協働広報センター |
| ⑥ 図書館 | ⑭ テニスコート | ⑯ トレーニングルーム |
| ⑦ 第2体育館 | ⑮ グラウンド／人工芝サッカー場 | ⑰ コンディショニングルーム |
| ⑧ 第3教育棟 | ⑯ 大学院附属臨床心理センター | ⑱ 学生福祉棟 |



硬式野球部 [強化指定部]



バドミントン部 [強化指定部]



⑤ 作新清原ホール

600名収容可能なホールでは、作新祭など、さまざまな行事が行われます。また、地域にも開放し、いろいろなイベントで利用されています。



⑥ 図書館

蔵書数は約24万冊。自然光をふんだんに取り入れたバリアフリーの図書館は地域にも開放しています。

グラウンド／人工芝サッカー場
栃木県内大学初の人工芝サッカー場。



サッカー部 [強化指定部] 陸上競技部 [強化指定部]



⑪ 情報センター

いつでもパソコン＆インターネットの利用が可能。Windowsの歴史を紹介するコーナーも。



⑫ 第2教育棟

階段教室、大講義室などさまざまな教室があります。



⑦ 第2体育館

幼児教育科専用のプレー室、音楽室、ピアノレッスン室(写真)などもあります。



⑧ 第3教育棟

大講義室やL.L.教室(視聴覚室)、臨床心理室、小児保健実習室、共用音楽室などが揃っています。



キャンパスデータ

敷地面積 10万㎡
(外周：徒歩約15分)

- 食事スポット
- 避難場所
- AED装置設置場所
- サクラの木
- 多機能トイレ



⑨ 学生会館

ガラス張りのおしゃれな建物。学生の憩いの場。食堂やコンビニ、ラウンジ、ミーティングルームなどを完備。



④ 中央研究棟

1階はキャリア・就職支援課、教務課、学生課、保健室。2～4階は教員の研究室、会議室。2階中央には開放的なラウンジあり。

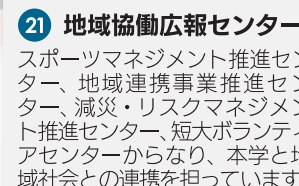
学びの舞台は、新国立競技場も設計した
隈 研吾氏のデザイン！

※ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑬



③ 教職実践センター

教職課程の実践的研究を推進する場。教育現場での研修会や各種講座を通じて教員への夢を力強くサポートします。



⑪ 地域協働広報センター

スポーツマネジメント推進センター、地域連携事業推進センター、減災・リスクマネジメント推進センター、短大ボランティアセンターからなり、本学と地域社会との連携を担っています。